



開所日時 月～金曜日 15:00～18:00
土曜日 10:00～13:00



ふれあい広場への想い

サヨナラ、文京・・・

児童デイの移転に伴い、いよいよ文京のふれあい広場とのお別れの日がやってまいりました。

平成 16 年 4 月のサービス開始時からずっと子ども達が過ごしてきた場所。楽しく過ごせるように試行錯誤を繰り返しながら作り上げてきた場所。そんな子ども達にとっても、職員にとっても思い入れの深い場所とお別れをするのはやはり寂しいものです。



広場と道具達。お世話になりました。

ありがとう！文京・・・

文京のふれあい広場で、迷い、悩みながらも挑戦し、子ども達が笑顔で過ごせていたらそれを取り入れる。まごころのプログラムはふれあい広場と子ども達で作ってきました。そんな「まごころらしさ」を新しい場所でも引き継ぎ、より発展させてゆければと思います。

ありがとう、文京ふれあい広場！！



研修報告～

『訪問介護サービス提供責任者研修セミナー』

▼サービス提供責任者の役割、専門性と人材育成
訪問介護においてサービス提供責任者は、①利用申し込みに係る調整、②訪問介護員に対する技術指導、③訪問介護計画の作成等の業務をつかさどります。また規定以外の付帯業務も多く中間管理職としての役割を持ち、その影響力も大きいと言えます。日々業務の管理を行い（訪問忘れの防止・業務のばらつきの是正）、ヘルパーに仕事を教え（すべきこと、すべきでないこと、報告・連絡事項、記録の書き方 e t c）知識技術を身に付け、個々の場面の相談、ケース会議に出たりと多忙を極めています。

ある調査では、全業務時間の中で、ヘルパーとしての訪問が 32% を占め、サービス提供責任者としての利用者宅の訪問が 5% だけで、勤務外にも会議などで呼び出し、祝日・年末も人材穴埋めで稼働して、本来の調整業務をヘルパー訪問の合間にこなさなければならない現状があります。訪問介護の要として、十分な役割が機能できるよう事業所内でも配慮が必要と感じました。

『介護技術スキルアップ研修』

▼医療ニーズの高い利用者への対応

近年、末期がん患者を含め、中重度利用者の在宅への移行が急速に進んでいます。また吸引も条件付きで認められたことや、医療行為の解釈変更が今後、法改正のもとに進められようとしています。在宅ですます、医療行為がヘルパーに求められるサービスとして広がっていくことは確実です。

研修では、「吸引」「軽微な褥瘡の手当て」「坐薬挿入・浣腸」「ストマ」の基礎知識と手技を学びました。利用者の中にも、吸引を必要とされている方も多々ありますが、知識や手技として今まであまり学ぶ機会がありませんでした。医療行為が認められても当然リスクもかかりますが、利用者が安全・安楽に暮らせる為に介護現場にも必要なことであると思いました。

ミニデイだよ！

まごころ込めて



毎日寒い日が続いておりますが、ミニデイのみなさんはお休みもなく、元気にお越し下さっています。12 月は、まごころで 1 番のご長寿の F さんの 94 回目のお誕生日会を開きました。毎回ケーキのろうそくを消して頂いた後、みなさんからマイクでお祝いのコメントを一言ずつ頂きます。「もつともつと、も一つと長生きしてください！」とのコメントに笑顔で応えてみえました。

12 月はお正月を迎えるにあたり、年賀状作り、干支の置物作りと奮闘していただきました。スタッフの予想を超える、個性あふれる素晴らしい作品にいつも驚かされます。

今年もみなさんに笑顔で過ごしていただけるミニデイになるよう、スタッフ一同、一生懸命取り組んで参りますので、よろしく願いいたします。



心づれづれ



まごころと母

明けましておめでとうございます。新春に思うことは、昨年を無事に過ごせたことへの感謝と新しい年を平和に過ごせたらという思いです。

私は 10 年前に、「まごころ」さんにて、ヘルパー資格をとりました。デイサービスやヘルパーとして勉強させていただきました。今もその頃の楽しかったこと、頑張ったこと等良い思い出です。

母もデイサービスに通い楽しく過ごしました。父は亡くなり、今は母と二人暮らしです。息子家族が隣に住んでいるので、6 人で賑やかな毎日です。米寿を迎える母ですが、自分のペースで生活し元気でいます。母は週 3 回のゲートボールを楽しみ、医院や接骨院、喫茶店、買物等は愛車の三輪車で出かけます。いつも心配して送り出してる私ですが、あまり面倒はみなくても今は見守っている感じです。母が元気でいてくれることに感謝しています。母に何かあれば、ヘルパーとして勉強したことを活かします。困った時には「まごころ」さんがあるから安心していきます。春になったら、またデイサービスに出かけたいと言っています。お世話になります。

幸せになったことを感謝するのではなく
感謝するから幸せである

多田幸圓

この気持ちで、日々過ごせたらと思います。

賛助会員 小島和子

